

鳴海健太郎氏追悼イベント

シモキタモツケイズム



去る九月一日(土)、大安寺を会場に開催され、約二百名の方々が来場されました。本行事は、長年にわたり、むつ下北地区の郷土の歴史や人物を研究し、その成果を多くの人々に伝えてきた鳴海健太郎氏が本年六月六日に享年八十六歳で逝去されたことを契機に企画されたものです。むつ下北地区が持つ文化の先進性を掘り起こし、自らを「モツケ人間」(モツケ、型破りな人、バカ者、熱中する人などの意)と称して、常に地域の人々を鼓舞してきた氏の生涯を顕彰しつつ、「文化」を通して新たなつながりを創り出し、このむつ下北地区から文化の狼煙をあげることを目的に、シモキタモツケイズム実行委員

会が企画実施しました。

正面玄関に受付を設置して、その横に氏を追悼する記帳コーナーを用意。奥の中広間では、氏のトレードマークであったブルータイづくりのワークショップを開催しました。また、大安寺境内の歴史的に貴重なポイントを巡るクイズラリーを実施し、全てのポイントをまわってクイズに答えた方に記念品を進呈しました。大広間には、今年生誕百周年の節目を迎えた川島雄三、恐山を舞台にした映画「田園に死す」を監督した寺山修司、斗南藩に関する展示コーナーを設置したほか、会場内にカフェスペースを設けて交流場所としました。また、向かいの控室に氏の書齋を再現し、その業績や知識の源泉に触れていただきました。本堂では、高瀬厚太郎氏による川島雄三に関する講演及び佐藤ミドリ氏による講演「菊池成章と村林源助の下北歌紀行」を開催。また、鳴海氏と生前に親交のあった、坂本謙二氏、三浦順一郎氏、馬場重利氏、菊池時男氏をスピーカーにお招きし、氏の思い出や業績、引き継ぐべきことを語るトークセッションを行った後、本堂前で「田名部おしまこ」「下北小唄」を踊り、氏を偲びました。

氏が生前愛した当寺で、大勢の方々と共にその業績や遺徳を偲ぶことができ、大変感慨深い思いがいたしました。

ニルス・バーグ・シネマスコープ & 福士正一 in Aomori



北欧から生まれた
ビジュアル・ジャズ
+
東北から生まれた舞踏

2018年10月8日(月・祝)
下北・大安寺
奉納 パフォーマンス + 交流会
開場17時・開演18時・終了20時・入場無料
039-4401青森県むつ市大隈町本町80

奉納。パフォーマンス@下北・大安寺

ニルス・バーグ・シネマスコープ & 福士正一

北欧から生まれたビジュアル・ジャズ+

東北から生まれた舞踏

【出演者プロフィール】

■ニルス・バーグ・シネマスコープ Nils Berg Cinemascope

北欧ジャズ界において常に注目を集めるクリエイティブな活動を展開している、サククス／バス・クラリネット奏者のニルス・バーグ。二〇〇七年に Jazz in Sweden 賞を受賞後はスウェーデン国内のみにとどまらず、国際的にも注目を集め、高い評価を受けている。世界的なプロデューサー、ニルス・ラングレンとのプロジェクト「The Nils」や KOOP と共に北欧クラブ・ジャズ・シーンでも中心的な役割を果たしている。また、ジャズの世界だけでなく、日本でも高い人気を誇るスウェーデン出身の人気ロックバンド MANDO DIAO との活動でも知られている。

www.nilsbergcinemascope.com

■福士正一

舞踏家。オドラデク道路劇場主宰。一九五三年青森市生まれ。山形大学在学時に舞踏と出会い、帰郷後、「公務する舞踏家」として三十五年間二足のわらじを履きつづす。観客の日常風景に緩やかに乱入し、市場や路地、学校や神社、小集落の集会所などで踊り続け、美術家、音楽家、歌人、僧侶など異分野の様々な表現者とも共演している。寺子屋舞踏塾を開催し、自分自身の舞踏を発見することを目指したワークショップや国内外からゲストを招いて公演を行っている。一九九七年青森県芸術文化奨励賞受賞

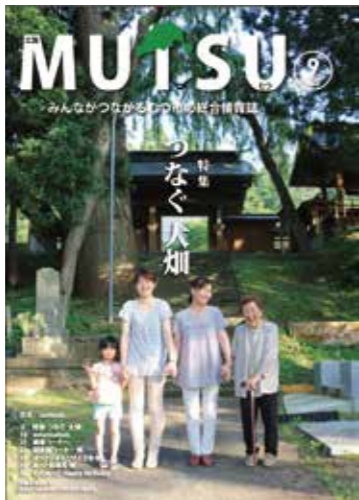


【公演概要】

日時：平成三十年十月八日(月・祝)
開場十七時・開演十八時・終了二十時
※終了後引き続き交流会あり
場所：大安寺本堂にて
入場無料・自由席
備考：本堂前は駐車禁止となります。
(降車のみ可) お車は参道左砂利駐車場に
駐車ください。

トピックス

広報むつ九月号表紙に大安寺が登場



広報むつ平成三十年九月号の特集が「つなく大畑」であったことから、表紙の口ケ地として当寺が選ばれました。むつ市大畑町で先人たちの思いを受け取り、それを次の世代に受け継ごうとする若者たちが特集されていますので、是非お読みください。バックナンバーはこちらのページをご覧ください。

http://www.city.mutsu.lg.jp/